

## 聖書の言葉

イエスが死んで復活されると、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください。

テサロニケの信徒への手紙 1・4章14節

切りとって送ってください

郵便はがき

241-8501

お手数ですが  
切手をお貼りください

横浜市旭区上川井町846  
VOPバイブルスクール行

ご意見、ご感想をお書きください。

## 悲しみの彼方 ④

におられるのです。

### 目覚める日

では、その死の眠りから目覚める日はいつなのでしょう。それは、イエスが再び天から降られる日です。

聖書には、こう記されています。

「この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき、次のように書かれている言葉が実現するのです。

『死は勝利にのみ込まれた。

死よ、お前の勝利はどこにあるのか。

死よ、お前のとげはどこにあるのか』

(コリントの信徒への手紙1・15章54、55節)

友人のAさんの葬儀の日、主治医だったM先生は寂しそうでした。「あんなに一生懸命闘ったのに——」と。不治といわれる病に、AさんもM先生も必死に闘っている姿を、私たちは見ていました。でも、死が勝利してしまったのです。

けれど、イエスの再び来られる日、死は敗れ、私たちは失った愛する者に再び会えるのです。

その希望こそ、長い迫害の中で、クリスチャンが信仰を捨てなかった理由です。F先生を始め、多くのクリスチャンたちが今も、死を恐れていない理由でもあるのです。

## VOPバイブルスクール入門講座 ②

もうひとつの必要 全12課

- 1課 あなたは愛されています
- 2課 もっとも愛されている本
- 3課 あなたと出会うために
- 4課 いのちをかけた愛
- 5課 復活の奇跡
- 6課 あなたも変わることができる
- 7課 愛に生きるために
- 8課 特別な出会うの場所
- 9課 悲しみの彼方
- 10課 愛する人の目覚める朝
- 11課 希望の約束
- 12課 愛にあふれた故郷

その他のVOPバイブルスクールの講座

もっと  
学びたい方へ

**入門講座** 全12課  
聖書を初めて開く方でも手軽に学べる講座です。

**基礎講座** 全15課  
入門講座を終えた方や、詳しく学びたい方のための講座です。

**真理への道** 全18課  
キリスト教の背景のない方のためのキリスト教入門講座です。

**ストラクル預言講座** 全24課  
歴史や預言から聖書が学べる講座です。

**ニュースタート健康講座**  
健康の原則についてわかりやすく学べる講座です。



**VOPバイブルスクール**  
〒241-8501 横浜市旭区上川井町846  
メールアドレス: info@vojapan.net  
<https://vojapan.net/>

もうひとつの必要

9

VOPバイブルスクール入門講座②

# 悲しみの彼方



## 悲しみの彼方 ①

## いてくれてありがとう

朝、年老いた母の寝室のドアを開けます。ベッドの上ですでに起きている母の笑顔と、その腕に抱かれた猫の優しい目を見ると、いてくれてありがとうと心につぶやきます。

私たちの幸福の大きさは、「いてくれてありがとう」と言える相手が、どれほどいるかによって豊かになっていくのではないのでしょうか。それは家族であり、友であり、時には動物や植物であったりするかもしれません。

そうした愛に抱かれて生きている私たちは、その相手がいなくなると、例えようもない喪失感に襲われます。特に死別の痛みは耐えがたい悲しみです。その人に対して持っていた愛は行き場をなくしてしまいますし、その人から注がれていた愛は、もう受けることができなくなります。

だからこそ人は、死んだ人々がまだどこかにいると考えてしまいたいのです。死後の世界があって、亡くなった方たちは、今も後に残した人々を愛してくれているのだと。

そう考えなければ、かけがえのない人を失った者は、生きていく力もなくなるでしょう。ですから、多くの宗教では、死後の世界のことを教えるのです。

でも聖書は、死んだ人たちがすぐ天国に行くとは教えていません。まず、死という眠りの時があると書いています。

## 眠りの時

イエスの親しい友、ラザロという人が重い病に倒れた時のことです。知らせを受けてラザロの家へ向かうイエスは弟子たちに、「わたしたちの友ラザロが眠っている。しかし、わたしは彼を起こしに行く」

## 悲しみの彼方 ②

と語られました。普通こう言われれば、弟子たちが理解したように、ラザロの意識がなくなっていると考えるでしょう。しかし、このときラザロはすでに亡くなっていました。それを知っていたイエスは、あえて「眠っている」「起こしに行く」と語り、死は「眠り」であることを教えようとされたのです。

## 復活の約束

ではなぜ、死を眠りと言うのでしょうか。

第1に、それはもう1度目覚める時があるからです。私たちは死で終わりではなく、死からの復活の約束が希望として与えられています。

聖書には「兄弟たち、既に眠りについた人々については、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください」(テサロニケの信徒への手紙1・4章13、14節)と約束しています。

だからこそ、キリスト教は「死」に対して強いのではないのでしょうか。

イエスの昇天後しばらくしてから、教会には迫害の嵐が吹きすさぶことが度々でした。信じたら処刑される——その事実を目のあたりにしながら、なお信仰の火は消えなかったのです。ローマなどの地下に今も残るカタコンベは、迫害時代のクリスチャンの隠れ家であり、また、墓所でした。その墓誌には「我が愛する者よ、死は永遠ではない」「彼は、その眠りからよみがえるであろう」と繰り返し書かれていると聞きます。そこには、死を恐れなかった初代のクリスチャンの姿が見えます。

私は、現代のクリスチャンにも同じ精神があると

## 悲しみの彼方 ③

思います。F先生は私の恩師、あたたかい心と優しい手を持った方でした。数年前、先生は病に倒れ、ホスピスに入院されました。その病室の先生はほんとうに明るいのです。「天国の夢を見たの。輝くように美しい所よ。あそこでみんなと会えるのね」とほほえむ先生を前に、見舞いの人々もまた、笑顔を返します。

その最期は、神が先生の心をそっと抱き取ってくださったように思えました。死は先生にとって恐ろしいものではなく、優しいものとして来ました。もう一度目覚める希望があるために。

## 静寂の眠り

死を「眠り」と呼ぶ第2の理由は、それが深い深い無意識の時だからです。

子どものころの深い眠りを覚えていらっしゃるでしょうか。目をつぶって、開けるともう朝になっていたあの時代です。その眠りには確かに夢も時間もありませんでした。

明日は動物園に行くと言われた夜は、私はなかなか眠れずに、はしゃいでいました。すると母が「早く寝ると、早く朝が来るわよ」と言います。そして寝て目を覚ました時には、ほんとうに朝になっていたのです。

あの深い眠りに死の眠りは少し共通するのです。聖書ではそのありさまを「生きているものは、少なくとも知っている／自分はやがて死ぬ、ということ。しかし、死者はもう何ひとつ知らない。……その愛も憎しみも、情熱も、既に消えうせ／太陽の下に起こることのどれひとつにも／もう何のかわりもない」(コヘレトの言葉9章5、6節)と書いています。

死は静かな、時の流れさえない状態なのです。今、F先生は目覚める日まで、深い眠りの中(裏面へ続く)

切りとって送ってください

## VOPバイブルスクール入門講座2・答案用紙

黒のペンでていねいにご記入ください。(□の中に印をつけてください)

解答1

- 死んだらすぐに天国へ行く  
 死んだら何もなくなってしまう  
 死は眠りである

解答2

- 死んでもすぐに天国へいけると信じているから  
 死は眠りであり、再び目覚める時が来ると信じているから  
 死を認めていないから

解答3

- 深い深い無意識の時だから  
 魂も眠っているから  
 寝ている時と同じように夢を見たりするから

解答4

- 十分魂が休んだ後  
 イエスが再び天から来られるとき  
 目覚めなくなったとき

解答5

フリガナ お名前	登録番号
ご住所 〒	
電話番号 ( )	

このページを切り取って送ってください